

# 令和4年度地域運動部活動推進事業 休日の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書（概要）

## 高知県

### （地域における現状・課題）

少子高齢化によって生徒数が年々減少の傾向にある土佐清水市において、中学校部活動の維持・存続・継続は困難な状況になりつつある。地域において運動・スポーツの機会を将来にわたって確保・充実できるよう、子どもが地域でスポーツに親しめる環境作りや総合型地域スポーツクラブを中心に持続可能な取組を新たに構築していくことが必要である。

部活動の指導は教員に拠っている。その中には当該競技の指導力を十分有しないまま指導に当たらなくてはいけない場合もある。また、異動による指導教員の交代によっては、指導内容に変更が生じる可能性があり、生徒に戸惑いを感じさせたり、生徒の技能のレベルアップを停滞させることにもなりかねない。

教員が部活動を指導することによって拘束時間を引き延ばされることにもつながり「働き方改革」を踏まえて教員の負担軽減を図りたい。そして、地域の専門的に指導ができる人材を活用し生徒の活動の場を確保していく。

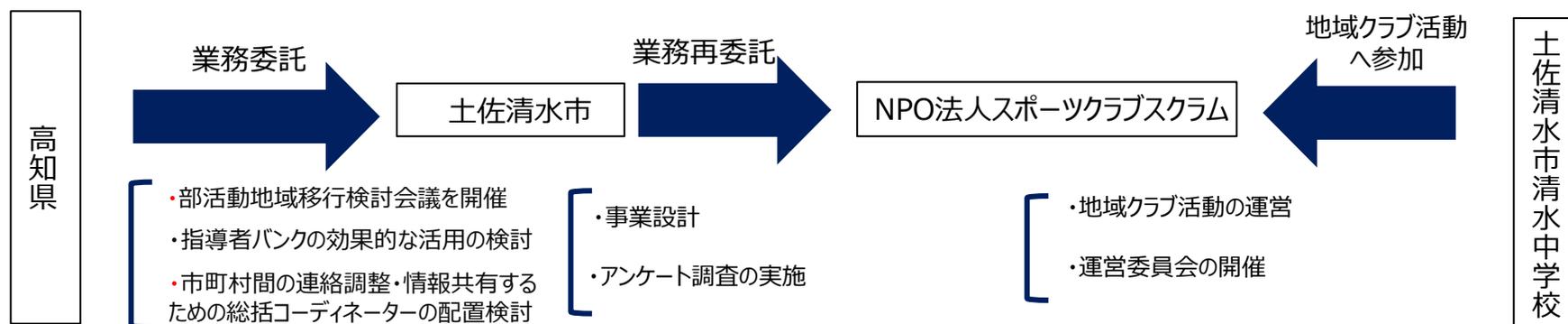
### （地域移行の推進に向けた体制整備の取組概要）

- ・検討・運営会議が3回開催され、土佐清水市教育委員会・NPO法人スポーツクラブスクラム・指導者・保護者・地域のスポーツ団体など様々な立場から地域で子どもを育てるために必要なことについて意見が出された。土佐清水市においては今後も児童・生徒数の減少が見込まれ、現状のように学校が運動部活動を担うことが困難であり、小中高の一貫した指導の継続や近隣市町村との連携を視野に入れた話も出された。
- ・今後、国の動向にも注視しながら、情報を地域や保護者等に共有できるよう取り組んでいく必要がある。

### （実践研究の成果）

実証事業において、活動する施設の確保や送迎の問題、各家庭への負担の在り方など課題が見いだされ、年間3回開催された検討・運営会議の中で様々な立場から意見が出され協議することができた。この取組を持続可能なものとし、地域の子どもの地域で育てる活動としてスタートすることができた。

### （運営体制図）



# 令和4年度地域運動部活動推進事業 休日の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書（概要）

## 土佐清水市

### （地域における現状・課題）

少子化によって生徒数が年々減少の傾向にある土佐清水市において、中学校部活動の維持・存続・継続は困難な状況になりつつある。地域において運動・スポーツの機会を将来にわたって確保・充実できるよう、子どもが地域でスポーツに親しめる環境作りが必要な状況にある。部活動の指導は教員が担っている。その中には当該競技の指導力を十分有しないまま指導に当たらなくてはならない場合もある。また、異動による指導教員の交代によっては、指導内容に変更が生じる可能性があり、生徒に戸惑いを感じさせたり、生徒の技能のレベルアップを停滞させることにもなりかねない。また、教員が部活動を指導することによって拘束時間を引き延ばすことにもなり、心身の疲労につながる。その結果、教育の質が低下することも考えられ、教員の働き方改革をふまえた部活動改革が必要な状況にある。

### （地域移行の推進に向けた体制整備の取組概要）

運営主体：NPO法人スポーツクラブスクラム／土佐清水市教育委員会 生涯学習課	責任主体：NPO法人スポーツクラブスクラム／土佐清水市教育委員会 生涯学習課
活動場所：市民体育館、総合公園テニスコート	活動種目：バドミントン、硬式テニス
指導者：スポーツクラブスクラム所属地域指導者 バドミントン、硬式テニス 各1名	会費等：2,000円
移動手段：徒歩、自転車	保険：800円（スポーツ安全保険） 500円（chubb損害保険）

### （実践研究の成果）

清水中学校の運動部活動であるバドミントン及び硬式テニスを今年度地域運動部活動として地域移行おこなった。実施期間中に検討・運営会議を3回実施、スポーツ推進委員、スポーツ推進審議会、体育協会等の委員や、部活動指導者にも参加してもらい地域移行するための問題点の洗い出しや、その課題解決に向けて協議できた。

アンケート調査を8月と12月の2回実施し、生徒、保護者、教員の部活動地域移行に関する考えを確認することができ、問題点、改善点を把握することができた。継続的な地域運動部活動の足がかりが、この事業により形成でき、今後は清水中学校の全ての運動部活動の地域移行を目標とすることができた。

### （運営体制図）

